

2021年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

筆記試験 日本史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

成	
績	

2021年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

筆記試験 (日本史 専攻分野)

左の問1～問2のうちから1問を選択して解答せよ。

問1 平安時代東北史研究の現状と課題について述べた上で、自身の博士論文の構想について記せ。

問2 修士論文の成果を踏まえて博士論文の構想を示し、さらにそれが日本近世史研究あるいは日本近世・近代移行期研究においてどのような意義を持つと考えるのか、具体的に論述せよ。

問3 自らがこれまで取り組んできた研究の成果と、博士論文の具体的な構想を説明せよ。また、その成果と構想は、どのような新しい歴史像を提示し、今後の近現代史研究の全体の動向に対して、いかなる貢献ができるのか、論述せよ。

